

令和4年度環境学習リーダー 養成講座

未来の地球・子どもたちのために私たちができること

オンライン
開催



● 日時／10月5日・16日・26日

11月9日・20日【裏面参照】

午前の部 10時～、午後の部 14時～

☆全10講座 ☆1講座から受講可能

● 定員／100名(応募多数の場合抽選)

● 対象／神奈川県内在住、在勤、在学の高校生以上の方

☆8割以上出席した方には修了証を授与します！

● 参加費／無料(受講に係る通信費用は受講者の負担となります。)

● 開催方法／Zoomによるオンライン開催(ライブ配信)

☆オンデマンドによる視聴も可能

● 講座内容／気候変動、生態系保全、リサイクルなど環境の専門分野の講師による基礎から最新のトピックスまで含めた講義や、環境保全活動団体の講師から、実践的なスキルを学びます。※各講座の詳しい内容はチラシ裏面参照

☆ライブ配信時は各講師に質問もできます！

申込み方法

◆「応募フォーム」または「ハガキ」

○応募フォーム○

右のQRコードから応募フォームにアクセスし、必要事項をご入力ください。

環境科学センターHP「講座・イベントのお知らせ」

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/b4f/kankyougakushu/event.html>

○ハガキ○

以下①～⑤の内容をご明記のうえ、下記の **申込み・問合せ先** までお送りください。

①申込み講座名(環境学習リーダー養成講座) ②郵便番号・住所 ③氏名(ふりがな)

④電話番号 ⑤メールアドレス【①～⑤はすべて必須項目】

☆どちらも受付期間は**9月1日(木)～9月20日(火)(必着)**です。



令和4年度環境学習リーダー養成講座 < 日程表 >

日 時	テーマ	内 容	講 師	
1日目 10月5日 (水曜日)	10時～	神奈川県の大気・水環境の現状と課題について	私たちに身近な大気や水の環境について、最新のモニタリング調査結果を踏まえた県内の現状や課題をお伝えします。	前半：神奈川県環境科学センター環境活動推進課 課長 小松宏昭 後半：神奈川県大気水質課 GL 秀平敦子
	14時～	脱炭素社会構築に向けた世界的動向と私たちができること	脱炭素社会の構築に向けた国、研究機関、企業の世界的動向や、国内自治体の脱炭素の取り組みを紹介しします。また、地域・自治体の脱炭素化施策を進める際に有用なツールも紹介します。	(公財)地球環境戦略研究機関 (IGES) 研究員 栗山昭久氏
2日目 10月16日 (日曜日)	10時～	伝える情報から伝わる情報にして、行動につなげよう	各種リサイクル法における消費者の役割、プラスチック資源循環促進法やゼロカーボンアクション、サーキュラーエコノミー等を、わかり易く解説。トラブル急増のリチウムイオン電池は3分動画で情報提供します。	(非営)持続可能な社会をつくる元気ネット 理事長 鬼沢良子氏
	14時～	丹沢山地のブナ林生態系を保全する県の取り組みについて	県民の貴重な水源地域であり、多様性豊かなかけがえのない森林である丹沢山地のブナ自然林を将来にわたり守り育てていくことを目指した県の取り組みを紹介します。	神奈川県自然環境保全センター研究連携課 主任研究員 谷協徹
3日目 10月26日 (水曜日)	10時～	食品ロスの現状と課題・削減に向けた取組について	食品ロスは生産、製造、販売、消費等の各過程で発生し、その削減には事業者、県民がこの問題を自分事として捉え、行動することが必要です。そこで、食品ロスの現状と課題、県の施策のほか、削減に向けた具体的な取組等について講義します。	神奈川県資源循環推進課 職員
	14時～	市民活動について	ボランティア活動をはじめとする市民の公益的な活動を支える組織の成り立ちや運営方法を実例とともに解説し、今後について考えます。	(一社)ソーシャルコーディネートかながわ 代表理事 手塚明美氏
4日目 11月9日 (水曜日)	10時～	相模湾の藻場の再生について	磯焼けが発生し海の砂漠化が進む相模湾の今と、研究者・漁業者・市民が連携した藻場の再生の取組みについて、新しい研究成果をもとにお話します。	神奈川県水産技術センター栽培推進部 主任研究員 木下淳司
	14時～	気候変動における台風や防災ツール、タイフーンショット計画を紹介	近年、大型の台風が日本に襲来し各地に甚大な被害をもたらしています。そこで気候変動における台風や防災に対する知識を教授し、さらに人為的に勢力を調節する技術開発を目指すタイフーンショット計画を紹介します。	横浜国立大学先端科学高等研究院台風科学技術研究センター センター長/教育学部 教授 筆保弘徳氏
5日目 11月20日 (日曜日)	10時～	里地里山の保全と再生～エコシステムアプローチから～	里地里山の重要性を「エコシステムアプローチ」から理解するとともに、神奈川県を事例に、里地里山の保全再生に取り組む地域住民組織の課題や行政に求められる役割について考えます。	横浜国立大学 名誉教授/日本ユネスコ国内委員会委員 小池治氏
	14時～	体験を中心としたオンライン環境学習教室の実践例	子どもたちや親子を対象とした環境体験教室をオンラインで実施した例を紹介し、一緒に工作や実験を体験しながら、リアル教室との違い、オンライン講座のメリット、デメリットについても考えます。	(非営)神奈川県環境学習リーダー会 長村吉洋氏

※受講申し込み者に限りオンデマンド視聴が可能です。

※Zoomの視聴用URLやその他の連絡はお申込時に登録されたメールアドレス宛にお送りいたします。